３年学年だより

２０２０．１０．２０
石川県立小松明峰高等学校
第３学年発行　No．８



実りの秋

不断の努力を！

Keep smiling,keep shining!
笑顔を絶やさず、輝き続ける生徒の活動を毎日更新中
小松明峰高校

２学期の中間考査も終わりました。記述模試が１０日、２４日とある中の考査で、ハードなスケジュールでした。考査を振り返り、一部の生徒と会話をしたところ、「しっかり勉強したのに、テストとなると焦ってミスばかりしてしまった。」と聞きました。実際限られた時間の中で、正解を導くには、普段から根気よく学ぶ姿勢が大切です。基本的なことですが、授業の１時間１時間を大切にしていきましょう。共通テスト向けの学習も進めていく中で、時間を図って解いていくことにも慣れていきましょう。

先生からのメッセージ



（31H副担任　内浦　博志先生）

日々何気ない日常を過ごす中で、時に素晴らしい言葉に出会うことがあります。そんな言葉の中で、最近特に印象に残ったものがあります。プロテニス、大坂なおみ選手の前コーチであるサーシャ・バイン氏の言葉で、「試合は勝つか負けるかではなく、勝つか学ぶかである」という言葉です。テレビ番組「奇跡のレッスン」で、サーシャ氏が日本のある高校の臨時コーチとして指導し、生徒たちが成長して行く過程が放映されました。プロコーチとしての技術指導の高さはもちろん、生徒の様子を把握し、タイムリーに的確な指導をする姿は、さすがトッププロコーチです。しかし指導対象はプロ選手ではなく高校生です。高校生にいかに分かり易く、納得してもらえるようにアドバイスをするか。通訳がいるといえどもどれだけ言葉の壁を越えて気持ちが伝わるか。苦労が伝わってきます。番組の後半では、練習の成果を試すべく強豪校との練習試合に挑みます。冒頭の言葉は、試合に臨む生徒達に向けて送られた言葉です。スポーツの試合では必ず勝ち負けがついてきます。負けた時に、その結果にどう向き合うかは選手にとってとても大切なことです。と同時に指導者にとってもその真価が問われる場面だと思います。僕自身、長年の部顧問としての指導を振り返ってみると、いかに敗戦を糧に出来ていなかったかを反省するばかりです。「試合は勝つか学ぶかである」ということを選手とともに理解し、共有し、実践する事の大切さを感じます。

部活動を引退し、受験勉強に励む３年生の皆さんは、この言葉を今どう感じますか。模試で失敗したとしても、そこで解説を読んで復習することで、同じミスは繰り返さなくなります。仮に最初の受験で失敗しても、２校目の受験で失敗を生かせるはずです。失敗から学ぶことは、スポーツに限らず、受験を含めこれからの人生すべての場面で当てはまる事だと思います。そのような前向きな人生を皆さんには送ってもらいたいと思います。

10 月 24 日の全統模試が最後の記述模試となります。志望大学はほぼ決まりましたか？11 月末から保護者会も控えていますので、私立大学を含めて複数の出願パターンを検討しておきましょう。



日	曜	日程	１１月
1	日		いしかわ教育ウィーク
2	月	B	
3	火	B	学校公開日　文化の日
4	水	B	
5	木	B	
6	金	B	ＬＨ
7	土		
8	日		
9	月	B	
10	火	B	総合
11	水	B	
12	木	A	県新人大会(後期) 3年生特別時間割
13	金	A	3年生特別時間割
14	土		
15	日		
16	月		(代休)
17	火	A	面接週間④(～20日)　総合(12)
18	水	A	
19	木	A	
20	金	A	学習時間調査　ＬＨ(12)
21	土		
22	日		
23	月		勤労感謝の日
24	火	A	総合
25	水	A	
26	木	A	期末考査(～12/2)
27	金	A	
28	土		
29	日		
30	月	A	３年保護者懇談会(～12/2)